

楽しむ科学教室



主催 財団法人平成基礎科学財団
 共催 東京大学理学部
 東京大学素粒子物理国際研究センター
 後援 **NHK**

第49回講演

ことばの起源と進化

～動物の鳴き声研究から～



岡ノ谷 一夫先生
 神経生理学・コミュニケーション生物学
 幼い頃から自己意識のメカニズムと存在理由を知りたいと
 思っていた。現在は、そのための手がかりとして、言語と情動
 の生物学を推進している。

- 理化学研究所脳科学総合研究センター
 生物言語研究チーム・チームリーダー
- 科学技術振興機構ERATO
 岡ノ谷情動情報プロジェクト統括
- 千葉大学・東京大学・慶應義塾大学 客員教授

- 経歴
 1959年栃木県足利市生まれ
 慶応義塾大学文学部卒業
 米国メリーランド大学大学院生物学専攻修士、Ph.D.
 学術振興会特別研究員、千葉大学文学部助教授等を経て
 2005年より現職
- 著書
 「小鳥の歌からヒトの言葉へ」(岩波科学ライブラリー、2003)
- 共著
 「ハダカデバネズミ」(岩波ライブラリー、2008)
- 分担執筆
 「ブックガイドく心の科学を読む」(岩波書店、2005)
 「脳研究の最前線」(講談社ブルー・バックス、2007)
 「脳科学と芸術」(工作舎、2008)
 「ヒトの心はどこから生まれるのか」(ウエッジ、2008)など

司会
武田 暁
 財団法人平成基礎科学財団理事
 東京大学・東北大学名誉教授

動物はさまざまな鳴き声や表情で感情や意図を伝え合うが、ことばを話すのは人間だけだ。動物のコミュニケーションと人間のことばは、何が同じで何が異なるのだろうか。小鳥、ネズミ、サル、鯨などさまざまな動物の鳴き声とコミュニケーションを紹介しながら、わたしたち人間がどのような道筋でことばを話すようになったのか、ことばを話すことで何を、何を失ってきたのかを考えてみよう。

2009年6月27日(土) 13:00～17:00

東京大学 小柴ホール

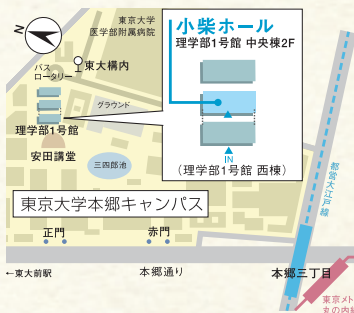
講演のプログラムは、1時間80分の2時限制、質疑応答40分で構成しています。

参加応募要領

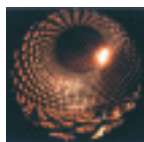
応募資格	高校生・大学生
申込方法	官製「往復はがき」または「e-mail」に、次の事項を記入してください。 ①氏名・フリガナ ②郵便番号・住所 ③高等学校名/大学・学部名 ④学年 ⑤「第49回」 ※「往復はがき」は「同一メールアドレス」1件につき応募者1名。(必ず参加希望の本人が申込むこと) ※「返信はがき」には、必ず本人の氏名、郵便番号・住所を記入のこと。
申込締切	2009年6月19日(金)消印有効
定員	150名 (先着順にて定員になり次第締め切ります。)
入場	無料 ※参加を認められた「返信はがき」又は「返信メール」が入場券となります。
先生の応募	学生の定員に余裕がある場合、理科担当教員も参加できます。 ※応募申込方法・申込締切日は同様。
応募申込先(問い合わせ)	財団法人平成基礎科学財団 〒100-6311 東京都千代田区丸の内2-4-1-1109A TEL 03-5208-1878 e-mail office@hfbs.or.jp ホームページ http://www.hfbs.or.jp

バーコード読み取り機能のある携帯電話で読み取ってアクセスしてください。

この「楽しむ科学教室」はNHK地上デジタル教育テレビにて放送され、更に平成基礎科学財団がDVDに制作し、全国の希望する学校に配布する予定です。参加者の方々の名前や質疑応答も放送番組、DVDに含まれることになることをご承知ください。



- ・本郷三丁目駅(都営大江戸線・東京メトロ丸の内線)
- ・東大前駅(東京メトロ南北線)
- ・JRお茶の水駅よりバス(学07東大構内行)東大構内バス停



天体ニュートリノをつかまえた
 カミオカンデの内部

この「楽しむ科学教室」は、基礎科学の研究・教育の振興のために平成基礎科学財団が開催するものです。基礎科学の面白さと魅力を実感して、基礎科学の諸分野に関心を持って取り組んで行こうとする意欲ある学生諸君が参加されることを期待しています。講演会には、私も出席して一緒に勉強します。

小柴昌俊

財団法人平成基礎科学財団 理事長
 東京大学特別栄誉教授

